

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>①72% ②28%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね肯定的である。「①そう思う」が教職員と保護者で約40%の差があるのは認識のずれがあるためであると考えられる。また、「ニーズ」をとらえるとはどういうことなのか、また保護者の「ニーズ」をいつ把握するのか分からないという意見もあった。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ニーズ」についてのアンケートなど学校へ意見を伝える場が設けることができると、より「ニーズ」を把握することができると考えられる。また、学校HPにも記載されていることなので、見てもらえるような働きかけが必要である。
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>①30% ②62% ③8%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校での評価は高く、地域の学校として地域との連携が取れている。今後も情報収集に努め、保護者や地域のニーズを大切にしてほしい。
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>①57% ②36% ⑤7%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>①78% ②22%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な評価が多い。教職員が100%、生徒が90%、保護者が92%、地域が93%である。 ・昨年と比べ学校教育目標がわかりやすくなったことで、教職員は4%、生徒12%、保護者3%上昇した。
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	<p>①64% ②26% ③6% ④4%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①との関連もあるが、今後も学校HPや学校だよりなどでの説明を根気強く行っていく。 ・学校教育目標を意識した取り組みを行っていく。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>①49% ②43% ③6% ④2%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等も、回覧で地域に回してもらっている。学校からの情報発信力はかなり高い。 ・地域から高評価をいただき、満足度も高い。今後も学校は、学校教育目標を広く知らせる工夫を続けて欲しい。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>①86% ②7% ③7%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な評価が多い。教職員100%、生徒93%である。 ・「①そう思う」と答える生徒が2%増加した。
	生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年によって学力に差があるので、日々の教材研究を重ね、学年の実態を把握して、授業づくりを行っていく。
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはり、先生のようなプロの目が必要である。先生方は児童・生徒に自信を持たせることが上手である。学習支援ではプロの先生方が日々工夫していくことが大切である。
	地域			

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	生徒は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね肯定的な評価が多い。生徒の肯定的評価が教員の肯定的評価に比べ、6%多い。 ・保護者や地域の「①そう思う」評価が低いのは、見えていないからであろう。
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者に授業中の生徒の様子を見てもらえるよう、授業公開日を増やす。 ・平日公開ではなく、土曜公開日にするなど公開の仕方の工夫が必要である。 ・公開日に、見に来ていただいた地域の方、保護者にその都度アンケートを取る。
	保護者	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変落ち着いた雰囲気です学習している。数値的にも肯定的なものが多い。 ・保護者の目はきびしくなるものである ・「学び合い」学習での効果も出ており、引き続き、教職員一丸となって、取り組んでいただきたい。
	地域	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、生徒の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<p>①74% ②26%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な評価が90%を超えている。教職員100%、生徒93%、保護者94%であった。 ・1学年の生徒に限ってみると、否定的な回答が15%となっていることが課題である。
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<p>①61% ②32% ③4% ④3%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見・早期対応を徹底する。また、組織として対応していく。(学級→学年→学校) 情報収集をしっかりとする。 ・生徒の信頼関係の構築が大切である。 →日常生活での生徒との関係づくり。 →日頃から生徒とのコミュニケーション推進をとる。
	保護者	教職員は、生徒が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<p>①43% ②51% ③5% ④1%</p> <p>■① ■② ■③ ■④</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導体制、教育相談体制をしっかりと作り組織的な対応をしてきているとわかる。 ・生徒に一人でも否定的な生徒がいることは、重く受け止めなければならない。いじめはあるという前提で、引き続き、組織的な対応を先生方をお願いしたい。
	地域			

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	生徒は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・生徒・保護者・地域ともに、肯定的評価が、90%を上回っている。 ・生徒はよく学校のきまりを守り、学校生活を送っている。学校の指導・取り組みを評価できる。
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の指導・取り組みの良かったところを吟味し、を来年度に繋げていきたい。
	保護者	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体が良い雰囲気である。 ・これからも、生徒同士で注意し合える人間関係作りと教職員の組織的な指導体制強化をお願いしたい。
	地域	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	生徒は校内ですすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・保護者・地域ともに、「①②進んであいさつをしている」という回答している方が70%であり、「③④そう思わない」と回答した方が30%とやや高い数値を示している。
	生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が手本となり、挨拶をする。 ・親への挨拶の仕方指導・講座等を実施する。 ・生徒への挨拶の仕方指導をする。 ・受け取り側が、気持ちよく感じる気持ちのこもった挨拶を励行する。
	保護者	生徒は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域では、生徒たちはよく挨拶してくれる。 ・挨拶はしたらいいのではなく人に伝わる挨拶であるべきだし、一人一人事情が違ってしょうがないのではないか。 ・地域の中でも「わいがや祭り」のような場面でさりげなく教えていこうと思っている。
	地域	生徒は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>①78% ②22%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価が、教職員と地域は100%、生徒と保護者も90%を超えている。 ・保護者から「生徒が下校途中に寄り道をし、帰りが遅くなる。」という意見と、「新人戦後の下校時刻が遅い。」という意見があった。
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>①76% ②21% ③2% ④1%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人体育大会後の下校時刻の修正をする。 ・下校時刻を保護者へ周知徹底する。 ・保護者へ生徒の下校時刻を把握してもらい、寄り道防止の協力を仰ぐ。
	保護者	学校は、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>①43% ②48% ③9%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の数値は、保護者としての心配の現れであろうと考えられる。 ・安全を守るため、地域としても、できる範囲内で工夫して安全対策を行っていきたい。
	地域	学校は、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>①57% ②43%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>①72% ②28%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、保護者、地域ともに90%を上回り肯定評価が高くなっているが、「②だいたいそう思う」の割合が増え、地域の方の結果が前年度よりも低くなっている。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート対象の方が前年度と異なることも考えられる。今までのように継続して発信すべき。 ・地域の方々への情報発信を地道に行う。
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>①43% ②51% ③6%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好である。学校、家庭、地域が連携し、教育活動がすすめられている。 ・情報発信についても引き続きお願いしたい。
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>①57% ②36% ③7%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>①78% ②22%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定評価が、全体で90%を超えているが、保護者、地域では「②だいたいそう思う」の割合が高くなっている。 ・地域人材の活用の点では、赤ちゃんふれあい体験や翔南祭の講座など、地域の方々に協力していただいていることがあまり周知されていないのではないかと。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等に参加していただいていることを積極的に発信する。
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>①40% ②52% ③7%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が良い関係であることが、数値として出ている。地域と学校が良い連携ができている事例として、市の学校応援団会議でも挙げられた。一部に否定的な意見もあるが、学校の教育活動が見えていないと思われる。さらに学校、地域において広報活動を続ける。
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>①50% ②43% ③7%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に肯定評価は90%を超えているが、昨年に比べ生徒以外の評価はすべて落ちている。 ・「清掃がない日が多い」という感覚が教職員間にある。 ・保護者など外部の方が学校を見に来られる前日に清掃がないことがある。 ・清掃を早めに終わらせてしまう班がある。
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃を安易にカットしない。 ・外部の方が来られる前は清掃を入れたほうが良い。 ・清掃が終了しても、反省会終了時刻までその場にとどめておくことを共通理解とする。 ・清掃は時間いっぱいさせる。
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の取り組みは、生徒の数値を見ても評価をすることができる。 ・家庭で掃除を教えていく必要がある。 ・学校でも、家庭、地域でも大人が手本を見せることが大切である。
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	